

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227  
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781

平成12年4月(2000年) No. 412

## 淡路撮影会は5月6日(土)～ 7日(日)に変更

今年のOMC撮影会は、いま淡路島で行われている花と緑の博覧会とレンタカーによる淡路各所を予定、最終ロケハン中です。当初4月15日～16日を予定してましたが、宿泊予定の民宿よりもっと良いところはないか探し、5月6～7日なら空いているとのことで変更しました。宿泊は津名ハイツという公営の立派な施設です。連休最終の休日で何かとご予定もまだあると思いますが、年一度の親睦を兼ねた撮影会に是非ご参加下さるようお願いいたします。詳しくは追って関世話役よりご連絡します。

## 4月研究会は「脚本・構成」の 作成法がテーマ

編集に取りかかる前に、撮ってきた素材をどうまとめるか、どうしたら第三者が見ても共感を得られるような、或いは感動を与えられるような作品に仕上げられるのか、全体の構成のねらいを決めて脚本を書きそれを基に編集に取りかかるのが筋だというのが私の考え方です。4月研究会ではこうした脚本づくりの基本的な考え方について現在執筆中のテキストと実例ビデオを用いて講習を行います。多数のご参加をお待ちしています。

合原記

■日時：例会日(4月22日)の13時30分より17時まで。■会費：500円  
 ■場所：例会場と同じく阿倍野市民学習センター会議室。

## 4月例会のお知らせ

4月例会は22日(第4土曜日)午後6時より、阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3階)で開催します。大勢の会員さんのご参加をお待ちしています。

## ミニ撮影会のお知らせ

作品研究会の一環として、4月16日(日)に万博記念公園にてミニ撮影会を開催します。「春」がテーマで5月研究会の課題にします。AM10時にモノレール駅から中環の橋を渡った中央入口前集合です。どうぞ、ふるってご参加ください。家族づれでも歓迎です。

## 3月作品研究会のレポート

3月作品研究会は、3月14日18時30分より阿倍野市民学習センターにて「冬景色」をテーマに行いました。13名の参加と8本の研究作品の出品があり、時間一杯一本一本丁寧にお互いに意見の交換や助言などがあり有意義なひとときを過ごしました。雪のある白い世界の撮り方など大変参考になったと思います。

### 研究会作品上映

1. 「冬景色」森保信さん3分。余呉の冬景色を静かなBGMでしっとり描写。森さんもクレジットタイトルのデザインを変えて話題に…。
2. 「余呉湖小景」増池茂さん4分30秒。余呉の冬景色、色が青っぽいカットがあり話題提供。編集についての助言が多数あり、研究作品としてかっこうの教材となりました。
3. 「残雪」安居良枝さん4分。近くの住吉神社で、大阪での雪の降った朝撮られました。英語のナレーション入りBGMに疑問の声が上がりました。
4. 「雪のある朝」安居利次さん3分。大阪での降雪の朝、住吉公園にて撮影。短編ながら作者らしいナレーション入り。大阪の冬景色でした。
5. 「哀愁の郷」合原一夫さん4分。水上勉の悲恋小説「湖の琴」のイメージにあわせBGMも同映画のものを使ったが、消化不良で題名負けです。
6. 「樹氷」有村博さん4分25秒。近畿の5カ所で撮影された樹氷が見事で、青空と樹氷の対比が良かった作品。樹氷撮影の勉強材料になりました。
7. 「余呉冬景色」関剛さん3分23秒。余呉の一連の作品とは異なり、オーソドックスなまとめかたをされた作品。
8. 「2000年1月シチリア島」森田光春さん12分。イタリア紀行、雪山の夜明けを遠くに望める風景、遺跡など、旅行もののまとめ方で話題提供。

## 3月例会のレポート

3月の例会は25日の午後6時より何時もの例会場で開催しました。司会、関さん、書記、有村さん、デッキ係に渡辺さん、奥さん、受付兼照明係を増池さんで会を進行しました。

◆出席者：森、奥、関、安居利、安居良、江村、安居充、華岡、那須、森田、岡本、河合、上総、有村、森口、金子、渡辺、松本、高田、森下、今井、増池、中尾、西村、前田の皆さん（敬称略）25名と作品本数13本  
◆上映作品（今月の記録と講評担当：有村 博）

- 1) 古都の韻(ひびき) 関 剛さん 9分55秒  
1月に毎年行なわれる奈良の山焼きの花火から始まって3月の東大寺のお水取りの松明の炎で終わる見事な作品でした。関さんらしい独特のカメラワークのカットに少しばかりの妥協のカットを入れられたようですが、全体の流れがスムーズでよくまとまっていたように思いました。美しい夢のような映像を楽しんでいたのですが、電線が沢山ある塔のカットで一瞬現実に引き戻されたのは私だけだったのでしょうか。
- 2) 梅みる人 安居良枝さん 4分15秒  
大阪城梅林でビデオ撮りをしますと大抵はその美しい梅だけで終わってしまうのですが、この作品は梅を見ている人々の表情が中心です。良い所に着眼されたと思います。ただ相手に気付かれずに他人の表情を撮るのは難しいものです。作品を見終わって良かったなと思わせるには、語りが終わってしばらく余韻の残る映像のあと終わる方が良いように思います。如何でしょう。
- 3) 下水物語 安居利次さん 7分00秒  
「自宅のトイレと市の下水管が直結したのは30年前でした」といった語りから始まるこの作品は下水処理施設の展示物を紹介しながら活性汚泥



11) 余呉湖小景 増池 茂さん 4分30秒  
 冬の余呉湖が落ちていた画面で美しく表現されていました。最初の所で  
 カメラマンが2カット出ますが、点景として扱うには大き過ぎる気にな  
 りますので思い切って外した方が賢明でしょう。陶器の蛙と南天の実も  
 この作品には合いません。最後のホワイトバランスを間違った青い画面  
 も整理しますともっと良くなるように思いました。

12) 嵯峨野の春 森口 吉正さん 6分20秒  
 観光の嵯峨野から少し離れた広沢池や早春の田園風景を、野鳥観察をす  
 る人との交流を交えながらしつとりと描いておられます。後半その看板  
 や人の教えなどの展示物が出てきて、それまでの流れと違い戸感いまし  
 たが、直指庵を最後にして締め括っておられます。

13) 雪降る余呉 高田 淳吉さん 6分00秒  
 雪が積もって足元の悪いのに、見るからに重そうな業務用の大きなカメ  
 ラと三脚を持ち込んで撮影されたので、ゆっくりとした落ち着いたパン  
 ニングとズームングでこの作品の成功をもたらしたようです。ただ全編  
 殆どがディゾルの繋ぎですし、同じ様な手法の繰り返しで少々長く感  
 じられる部分もあるので、もう少し整理されたら見事な作品に仕上がる  
 事でしょう。  
 以上で会員さんの作品上映を終わり、何時ものように喫茶店と居酒屋に別  
 れて2次会を楽しみました。

## ☆お知らせ

■安居利次作品「環状線」が、大阪市視聴覚教材コンテストで、“特選”  
 上記の通り、最優秀の「特選」受賞、おめでとうございます。

■インターネットにアマチュア映像を発信する件でビデオサロンが取材  
 このほど会員の前田さん、藤原さんと元会員だった柴谷さんの3氏が玄  
 光社のビデオサロン編集部より取材を受けられました。4月20日発売のビ  
 デオサロン5月号クローズアップのページに掲載予定。ぜひご一読くだ  
 さい。

■OMCのURLは：<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/> です。  
 メールアドレスをお持ちの方は広報担当（前田）までご連絡ください。

## VIDEO

今月のインターネット例会作品紹介

「The Day dream」安居 充作品(画像をクリックしてください、スタートします。)

No	Real Video5.0	for 28K modem	602KB 3分15秒
1			